

【後期基本計画の誌面構成】

基本計画 健やかな成長と人間力をのばせるまち

第1節 大切な命を社会全体で守り育むまちづくり

子どもを産み、育てやすい環境をつくる



基本方針

家庭や地域で安心し、ゆとりを持って、楽しく子育てできるよう、行事などの情報提供や相談体制の充実を図るとともに、保護者が互いに交流できる場と機会の提供を行い、子育てする方の仲間づくりの支援や子育てにかかる経済的負担の軽減を図ります。

また、地域の人と交流する機会を増やすなど、地域社会全体で子育てをする環境をつくります。

さらに、子どもを安心して産み育てられるよう、母子の健康保持などの体制の充実を図ります。

現状と課題

子育ての基本は家庭であることは言うまでもありませんが、少子化や核家族化の進展や地域コミュニティが希薄化するなかで、家庭での育児不安やストレスに悩む保護者が増加し、様々なトラブルが発生し、その対応が求められています。

また、家庭だけでなく、地域で子どもを守り育てていく社会づくりが求められています。

さらに、出産を迎える母親の不安解消や妊娠・出産のための健康確保とともに、子どもの病気やケガに対する不安を少しでも解消するため、産科や小児科の医療体制の整備が求められています。

めざそう値

項目	H21(当初)	H26(現状)	H32(めざそう値)
地域子育て支援拠点の利用者数	23,500人	21,075人	22,200人※
子育てに関して不安感や負担感などを感じる割合	54.3% <small>(H20 次世代育成支援行動計画アンケート)</small>	49.2% <small>(H25 子ども・子育て支援に係るニーズ調査)</small>	45%※

取り組み事項

○育児相談・情報提供体制を充実する
子育て情報が簡単に手に入り、子育て支援サービスをうまく活用できるような情報の提供に努めます。
また、子育てについて、気軽に相談できる相
【主な事業】 地域子育て支援拠点事業、子育て学習活動推進事業

談・指導体制を充実し、育児不安の解消を図るとともに、子育てを自ら学ぶための、子育て講座や講習などを実施します。

○子育て支援サービスを充実する
育児をしている保護者が気軽に悩みを共有できる子育ての仲間をつくり、心理的な負担が軽減されるよう拠点を整備し、すべての子育て家庭が必要な支援を受けられるようサービスの充実を図るとともに、閉じこもりがちな保護者への働きかけをします。
また、ゆとりを持って子育てができるよう医療費や妊婦健康診査の助成などを通じて、経済的負担の軽減を図ります。
【主な事業】 乳幼児等医療費助成事業、子ども医療費助成事業、母子家庭等医療費給付事業、育児健康支援事業、ファミリーサポートセンター事業、一時預かり事業、妊婦健康診査費補助事業、妊婦外出支援事業

○子育て支援ネットワークを充実する
地域社会全体で子育てを支えていくために、民生児童委員などの活動を地域住民に周知し、連携を深めます。
また、保育所などの公共施設において、交流事業などを推進します。
【主な事業】 地域子育て支援拠点事業、地域子育てネットワーク事業、地域交流活動

○母子保健対策を充実する
妊娠から出産、更に子どもの発育・発達段階に応じて、健康診査の充実や訪問指導、予防接種の推進、思春期の保健対策を整備するなど、効果的に事業を行うとともに、小児医療の体制について検討を行います。
【主な事業】 妊婦健康診査費補助事業、妊産婦・乳幼児訪問指導事業、乳幼児健康診査事業、予防接種事業、小児科病院群輪番制運営事業

目指すまちのイメージを表現しています。

目指すまちの姿と、方向性についてまとめています。

まちの現状と課題をまとめています。

目指すまちづくりの目安となる指標（めざそう値）を設定しています。

※H21欄の（）書きの年は、数値が把握できた直近の年を記載し、表中の※は、後期計画で修正した内容を示しています。

目指すまちづくりのための具体的な取り組みについて説明しています。